

提出日: _____

GS1 AIDC 標準 自己適合宣言書
(GS1 標準バーコード生成ソフト用)

製品情報

モデル名（バージョンを含む）: _____

製品の GTIN-13 (JANコード): _____

製品概要:

製品紹介 URL: _____

参照チェックガイドのバージョン: _____ (現在の最新版は **Ver.1.3.1**です)**GS1 標準適合シンボル**

☐ EAN/UPC	☐ ITF	☐ GS1-128	☐ GS1 データバー
☐ GS1 データバー合成シンボル	☐ GS1 データマトリックス	☐ GS1 QR コード	

問い合わせ先

会社名:
担当:
TEL:
E-mail:

注: 問い合わせ先を含むこのページは全て GS1 Japan の HP 上に公開されます。

文書識別番号 (GDTI)

注: ここには何も書かないでください。

企業名：

製品名：



3.1 バーコード生成ソフト①EAN-13、UPC-A、UPC-E（2桁、5桁アドオン含む）、EAN-8

機能分類		機能確認項目	チェック欄
必須項目	生成機能	①EAN-13、UPC-A、UPC-E（2桁、5桁アドオン含む）及び EAN-8 JIS X 0507 に則って正しくエンコードできる。	☐
	確認・警告 補助機能等	GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 または GTIN のチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注)} 。	☐
		桁数チェック、および過不足の警告機能を備える。	☐

注) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** 参照。

企業名：

製品名：



3.2 バーコード生成ソフト②ITF

機能分類		機能確認項目	チェック欄
必須項目	生成機能	②ITF JIS X 0505 に則って正しくエンコードできる。	☐
	確認・警告 補助機能等	GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 またはチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注)} 。	☐
		桁数チェック、及び過不足の警告機能を備える。	☐

注) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** 参照。

企業名：

製品名：



3.3 バーコード生成ソフト③GS1-128

機能分類		機能確認項目	チェック欄
必須項目	生成機能	③GS1-128 JIS X 0504 に則って正しくエンコードできる。	☐
	確認・警告・補助機能等	先頭の FNC1（GS1 標準バーコードであることを示す）を自動挿入する機能を備える。	☐
		GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 または GTIN のチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注1)} 。	☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI ^{注2)} の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能を備える ^{注3)} 。	☐

任意項目	確認・警告・補助機能等	既定固定長 <u>ではない</u> AI の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータを自動入力するか、データセパレータを挿入する注意喚起（警告）表示を出す機能を備える。	☐
		既定固定長 AI ^{注4)} のデータの後ろや最終データの後ろに、 FNC1 を挿入させない機能を備える。	☐
		既定固定長 AI のデータ桁数チェック、及び過不足の警告機能を備える。	☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI のデータ桁数チェック機能を備える。	☐
		英数記号も使用可能な AI の場合、 使用できる英数記号であるかをチェックする機能を備える。	☐
		一つのデータ項目の途中で HRI を折り返さない機能を備える。	☐

注 1) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** 参照。

注 2) 既定固定長 ではない AI は、注 4 に示す AI 以外の AI のことをいう。

注 3) 自動挿入でも、データ入力が必要でも、データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能が備わっていればよい。

注 4) 既定固定長 AI については **GS1 標準バーコードベシックガイド 2.8.3** を参照。

企業名：

製品名：



3.4 バーコード生成ソフト④GS1 データバー

機能分類		機能確認項目		チェック欄
必須項目	生成機能	JIS X 0509 に則って正しくエンコードできる		
		④GS1 データバー	標準型（Omnidirectional）	☐
			標準二層型（Stacked Omnidirectional）	☐
			拡張型（Expanded）	☐
			拡張多層型（Expanded Stacked）	☐
			限定型（Limited）	☐
			切詰型（Truncated）	☐
			二層型（Stacked）	☐
	確認・警告・ 補助機能等	GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 または GTIN のチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注1)} 。		☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI ^{注2)} の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能を備える ^{注3)} 。		☐

任意項目	確認・警告・補助機能等	既定固定長 <u>ではない</u> AI の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータを自動入力するか、データセパレータを挿入する注意喚起（警告）表示を出す機能を備える。	☐
		既定固定長 AI ^{注4)} のデータの後ろや最終データの後ろに、 FNC1 を挿入させない機能を備える。	☐
		既定固定長 AI のデータの桁数チェック、及び過不足の警告機能を備える。	☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI のデータの桁数チェック機能を備える。	☐
		英数記号も使用可能な AI の場合、 使用できる英数記号であるかをチェックする機能を備える。	☐
		一つのデータ項目の途中で HRI を折り返さない機能を備える。	☐
		GTIN だけをシンボルの下に、それ以外をシンボルの上などに HRI の表示レイアウトを指定できる機能を備える。	☐

注1) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** 参照

注2) 既定固定長 ではない AI は、注4) に示す AI 以外の AI のことをいう。

注3) 自動挿入でも、データ入力が必要でも、データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能が備わっていればよい。

注4) 既定固定長 AI については **GS1 標準バーコードベーシックガイド 2.8.3** を参照

企業名：

製品名：



3.5 バーコード生成ソフト⑤GS1 データバー合成シンボル

機能分類		機能確認項目		チェック欄
必須項目	生成機能	ISO/IEC 24723 に則って正しくエンコードできる。		
		⑤合成シンボル	GS1 データバー限定型 CC-A	☐
			GS1 データバー二層型 CC-A	☐
	確認・警告・補助機能等	GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 または GTIN のチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注1)} 。		☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI ^{注2)} の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能を備える ^{注3)} 。		☐

任意項目	確認・警告・補助機能等	既定固定長 <u>ではない</u> AI の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータを自動入力するか、データセパレータを挿入する注意喚起（警告）表示を出す機能を備える。		☐
		既定固定長 AI ^{注4)} のデータの後ろや最終データの後ろに、 FNC1 を挿入させない機能を備える。		☐
		既定固定長 AI のデータの桁数チェック、及び過不足の警告機能を備える。		☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI のデータ桁数チェック機能を備える。		☐
		英数記号も使用可能な AI の場合、 使用できる英数記号であることをチェックする機能を備える。		☐
		一つのデータ項目の途中で HRI を折り返さない機能を備える。		☐
		GTIN だけをシンボルの下に、それ以外をシンボルの上などに HRI の表示レイアウトを指定できる機能を備える。		☐

注1) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** 参照

注2) 既定固定長 ではない AI は、注4) に示す AI 以外の AI のことをいう。

注3) 自動挿入でも、データ入力が必要でも、データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能が備わっていればよい。

注4) 既定固定長 AI については **GS1 標準バーコードベーシックガイド 2.8.3** を参照

企業名：

製品名：



3.6 バーコード生成ソフト⑥GS1 データマトリックス

機能分類	機能確認項目	チェック欄
必須項目	生成機能 ⑥GS1 データマトリックス JIS X 0512 に則って正しくエンコードできる。	☐
	確認・警告・補助機能等 先頭の FNC1（GS1 標準バーコードであることを示す）を自動挿入する機能を備える。	☐
	GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 または GTIN のチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注1)} 。	☐
	既定固定長 <u>ではない</u> AI ^{注2)} の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能を備える ^{注3)} 。	☐

任意項目	確認・警告・補助機能等 既定固定長 <u>ではない</u> AI の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータを自動入力するか、データセパレータを挿入する注意喚起（警告）表示を出す機能を備える。	☐
	既定固定長 AI ^{注4)} のデータの後ろや最終データの後ろに、 FNC1 を挿入させない機能を備える。	☐
	既定固定長 AI のデータ桁数チェック、及び過不足の警告機能を備える。	☐
	既定固定長 <u>ではない</u> AI のデータ桁数チェック機能を備える。	☐
	英数記号も使用可能な AI の場合、 使用できる英数記号であるかをチェックする機能を備える。	☐
	一つのデータ項目の途中で HRI を折り返さない機能を備える。	☐
	GTIN だけをシンボルの下に、それ以外をシンボルの上などに HRI の表示レイアウトを指定できる機能を備える。	☐

注1) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** 参照

注2) 既定固定長 ではない AI は、注4) に示す AI 以外の AI のことをいう。

注3) 自動挿入でも、データ入力が必要でも、データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能が備わっていればよい。

注4) 既定固定長 AI については **GS1 標準バーコードベーシックガイド 2.8.3** を参照

企業名：

製品名：



3.7 バーコード生成ソフト⑦GS1 QR コード

機能分類	機能確認項目	チェック欄
必須項目	生成機能	
	⑦GS1 QR コード JIS X 0510 に則って正しくエンコードできる。	☐
	確認・警告・補助機能等	
	GS1 QR コードであることを示す FNC1 モードのモード指示子を自動的に設定できる機能を備える ^{注1)} 。	☐
	GTIN のチェックデジットが誤っている場合に警告する機能 または GTIN のチェックデジットを自動計算し挿入する機能を備える ^{注2)}	☐
	既定固定長 <u>ではない</u> AI ^{注3)} の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータとしての FNC1 ^{注4)} を挿入する機能を備える ^{注5)} 。	☐

任意項目	確認・警告・補助機能等	既定固定長 <u>ではない</u> AI の後ろに別のデータが続く場合に、 データセパレータを自動入力するか、データセパレータを挿入する注意喚起（警告）表示を出す機能を備える。	☐
		既定固定長 AI ^{注6)} のデータの後ろや最終データの後ろに、 FNC1 を挿入させない機能を備える。	☐
		既定固定長 AI のデータの桁数チェック、及び過不足の警告機能を備える。	☐
		既定固定長 <u>ではない</u> AI のデータの桁数チェック機能を備える。	☐
		英数記号も使用可能な AI の場合、 使用できる英数記号であるかをチェックする機能を備える。	☐
		一つのデータ項目の途中で HRI を折り返さない機能を備える。	☐
		GTIN だけをシンボルの下に、それ以外をシンボルの上などに HRI の表示レイアウトを指定できる機能を備える。	☐

注 1) 詳細は、**GS1 標準バーコードベーシックガイド 5.1.1** を参照。

注 2) 確認・警告、自動計算の方法については **2.チェックデジットの自動計算、確認・警告機能の例** を参照。

注 3) 既定固定長 ではない AI は、注 6 に示す AI 以外の AI のことをいう。

注 4) GS1 QR コードにおける「データセパレータとしての FNC1」は英数字モードの場合は“%”，8 ビットバイトモードの場合は IS3（1Dhex）を用いる。

注 5) 自動挿入でも、データ入力が必要でも、データセパレータとしての FNC1 を挿入する機能が備わっていればよい。

注 6) 既定固定長 AI については **GS1 標準バーコードベーシックガイド 2.8.3** を参照。